

2026 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	森本 泉
演習テーマ	観光現象を考える
校外実習	1、実施しない 2、実施（実施時期： 年 月）
メール・アドレス	izumim@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	金曜日昼休み（要事前予約）
2027 年度に 開講しない可能性 (研究サバディカル)	なし
授業概要	<p>本演習 2 では、演習 1 に引き続き、観光現象とは何か、具体的な事例を取り上げ多元的に把握し、批判的に考察していく。</p> <p>まず、文献講読を通じて多様な観光現象について知識・理解を深めていく。文献に基づきディスカッションを行い、観光現象が私たちの暮らす社会にどのような影響を与えているのか、またこの社会をいかに創り出しているのか考察する。それから、各自の関心に基づき観光現象に関する課題を設定し、それぞれ調査研究を進め、ゼミ論を作成する。</p>
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文献講読を通して「読み」、「考える」能力を鍛える。 ・自分の考えを的確に文書で表現する（「書く」）能力、及び他者の意見を理解し、議論する（「コミュニケーション」）能力を向上させる。 ・観光現象について理解を深める。 ・自身の関心に基づき問いを立て、グローバルな視点から調査・分析する能力を鍛える。
授業計画	<p>■春学期</p> <p>1・2回 演習 2 の予定確認、観光現象の最新動向概説</p> <p>3～7回 文献講読・ディスカッション 講読文献（予定）須藤廣他編著（2023）『観光が世界をつくる』明石書店等</p> <p>8回 ゼミ論構想発表</p> <p>9～13回 文献講読・ディスカッション</p> <p>14回 総括</p> <p>■秋学期</p> <p>1・2回 ゼミ論のフィードバック、調査法概説</p> <p>3～7回 文献講読・ディスカッション 講読文献（学生の関心・要望に応じて学術雑誌から選択）</p> <p>8回 ゼミ論構想発表</p> <p>9～13回 文献講読・ディスカッション</p> <p>14回 総括</p>
予習	文献講読課題箇所を熟読、要旨を作成、ディスカッションの準備
復習	課題箇所の内容と議論をまとめる

授業に関する 注意事項	妥当な理由（病気・ケガ・忌引き）なく 4 回欠席した場合は単位を認めない。
教科書	須藤廣他編著（2023）『観光が世界をつくる』明石書店 他
参考書	演習内で随時紹介する。
成績評価の基準	文献講読関連課題（予習、発表）35%、授業参加（発言等）25%、ゼミ論 40%。
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	<input type="checkbox"/> 可 / 否 / その他（ ）
備考	